

平成 26 年 5 月 7 日

平成 26 年 3 月期 決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

(百万円未満切捨て)

1. 26 年 3 月期の個別業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期	32,372	+1.1	1,673	+34.8	1,715	+33.6	1,512	+580.3
25 年 3 月期	32,024	△3.6	1,241	+79.5	1,283	+131.5	222	△10.8

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月末	25,022	11,321	45.2
25 年 3 月末	25,077	10,236	40.8

2. 経営状況について

【全体状況】

当事業年度は、西日本の旗艦ショールームである大阪ショールームを、大阪駅直結の「グランフロント大阪」へ移転、LIXIL ショールーム大阪と同時オープンし、多彩な商品を一度にご提案できる環境を整えたり、当社がプロデュースする LIXIL 専用オーダーカーテンの販売強化のための体制を共に整備するなど、LIXIL グループでの更なるシナジー効果創出のために基盤を構築しました。

商品面では、身装・美術工芸事業で創業 170 周年を記念した商品・販売企画を実施し、大変好評を博しました。またインテリアファブリック事業のオーダーカーテンは、幅広いニーズに対応したシリーズ「Premier (プルミエ)」をリニューアル、同じく床材は、7月に総合見本帳「ビニル床タイル」「タイルカーペット」を発売し、商品力の強化を図りました。

当事業年度の売上高は、市場環境が総じて良かったことなどから、身装・美術工芸事業、インテリアファブリック事業共に増収となり、前年同期比 3 億 48 百万円 (1.1%) 増収の 323 億 72 百万円となりました。

損益は、売上増に加え、数年前から全社をあげて取り組んできた生産性向上活動や原価低減・経費削減が定着し、営業利益は前年同期比 4 億 32 百万円増益の 16 億 73 百万円、経常利益は前年同期比 4 億 31 百万円増益の 17 億 15 百万円となりました。当期純利益については、前年同期比 12 億 90 百万円増益の 15 億 12 百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

美術工芸部門の大型案件が集中した前年からの反動があったものの、帯を中心とした呉服部門が 170 周年の企画が好調であったことや、子会社じゅらくの合併などから、売上高は前年同期比 97 百万円 (4.1%) 増収の 24 億 93 百万円となりました。

営業利益については、子会社じゅらくの合併や 170 周年記念催事の実施などにより経費が増加したことから、同 71 百万円減益の 2 億 37 百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

オーダーカーテンが好調に推移したことから、売上高は前年同期比 2 億 51 百万円 (0.8%) 増収の 298 億 79 百万円となりました。

営業利益についても、増収に加え、原価低減・経費削減の効果により、同 5 億 25 百万円増益の 15 億 37 百万円となりました。

以上